

研究実施のお知らせ

2025 年 3 月 13 日 ver.1.0

研究課題名

人工股関節全置換術後の Forgotten Joint Score-12 に関連する因子をあきらかにする後方視的研究

研究の対象となる方

2024 年 6 月から 2024 年 12 月までに島根大学医学部附属病院で変形性股関節症に対して、人工股関節全置換術受けられた方を対象とします。

研究の目的・意義

変形性股関節症に対して人工股関節全置換術は一般的な治療法です。術後は痛みや機能が改善しますが、満足度が低い方が一定数おられます。術後の満足度には人工関節のことをどれだけ忘れられているかの指標（FJS-12）が関連するといわれています。そこで本研究は術後の FJS-12 にどのような因子が関連しているかを明らかにすることを目的とします。そのことで、今後の前向きな研究計画や臨床で必要な評価について改善することが可能となります。

研究の方法

この研究は、当院の人工股関節全置換術の術後患者のデータを用いて、満足度の指標（FJS-12）とその他の因子との関連性を解析します。具体的には、電子カルテ情報から年齢、身長、体重などの個人データ、筋力や関節の動く範囲、FJS-12 などの医療データを用います。診療で用いた検査結果のみを使用するため、研究のために新たに検査を追加することはありません。抽出したデータを統計解析して分析します。患者様の個人情報個人を特定できないようにし、研究対象者リストは研究責任者が保管します。

研究の期間

2025 年 4 月 18 日～2026 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院リハビリテーション部が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 田中和喜

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 9 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 田中和喜

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457